

## 令和2年度「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰

### ■ 志原っ子育成協議会（吉岐市立志原小学校）

みんなで育てる志原っ子  
～地域の子どもは地域で育てる～

- ・志原地区公民館長（地域住民を熟知した方）が地域コーディネーターとなり、学校運営協議会での協議結果や日常的な学校との連携の中で挙がってきた必要とされる連携・協働活動について、幅広い人脈から最適な人材や活動団体等を柔軟にコーディネートすることで、学校と地域との円滑な連携が生まれている。
- ・志原小学校の協働活動は、長年に渡り、築き上げられてきた実績があり、学校・家庭・地域が顔の見える関係で日常的に連携し、「情報共有」「熟議」「協働」「評価」のサイクルが確実に機能し、持続可能な活動となっている。

### ■ 一歩前の会（五島市立岐宿小学校）

生きる力を身に付けた笑顔あふれる岐宿っ子の育成  
～家庭・地域・学校の連携・協働を通して～

- ・地域住民を熟知した方が地域コーディネーターになることで、学校への支援内容に相応しいゲストティーチャーや学習支援ボランティア等とつなぎ、学校との連携・協働活動が計画的に行われている。
- ・地域と学校の共催行事である「岐宿っ子祭り」や、地元への修学旅行生誘致を目標とした調べ学習（6年生の総合的な学習の時間）において、子どもがゲストティーチャー等、多くの地域住民との関わりを持ち、ふるさと岐宿を思う強い気持ちや生き方、人としての魅力に触れることで、自分たちの未来に「夢・憧れ・志」を抱き、ふるさと教育の充実につながっている。

### ■ 佐々小応援団（佐々町立佐々小学校）

みんなでよってたかって笑顔輝く佐々っ子を育てよう

- ・退職校長会や婦人会のサポートティーチャーによる学習・行事支援、老人会による登校時の見守りボランティア、図書ボランティアによる読み聞かせ等、多様な活動が定着している。年度末には関係者を学校に招待して感謝の会を実施し、子どもたちから地域の方へ感謝の気持ちを伝えることで、支援者同士のつながりと成果の確認ができ、支援者のやりがい、生きがいにつながっている。
- ・PDCA サイクルで、課題や成果を確認しながら改善を図り、次年度の学校づくり、地域との連携に生かすことで、持続可能な活動ができています。